

第2回「航空燃料供給不足への対応に向けた官民タスクフォース」

2024年6月26日

一般社団法人
全国空港給油事業協会



一般社団法人
全国空港給油事業協会



全国空港給油事業協会の概要について

【設立】

昭和57年12月 2日 全国空港給油事業連合を設立
 平成5年 6月24日 社団法人として認可
 平成24年 4月 1日 一般社団法人として認可

【会員】（令和6年4月1日現在）

正会員 25社
 賛助会員 21社 計46社

【役員】（令和6年4月1日現在）

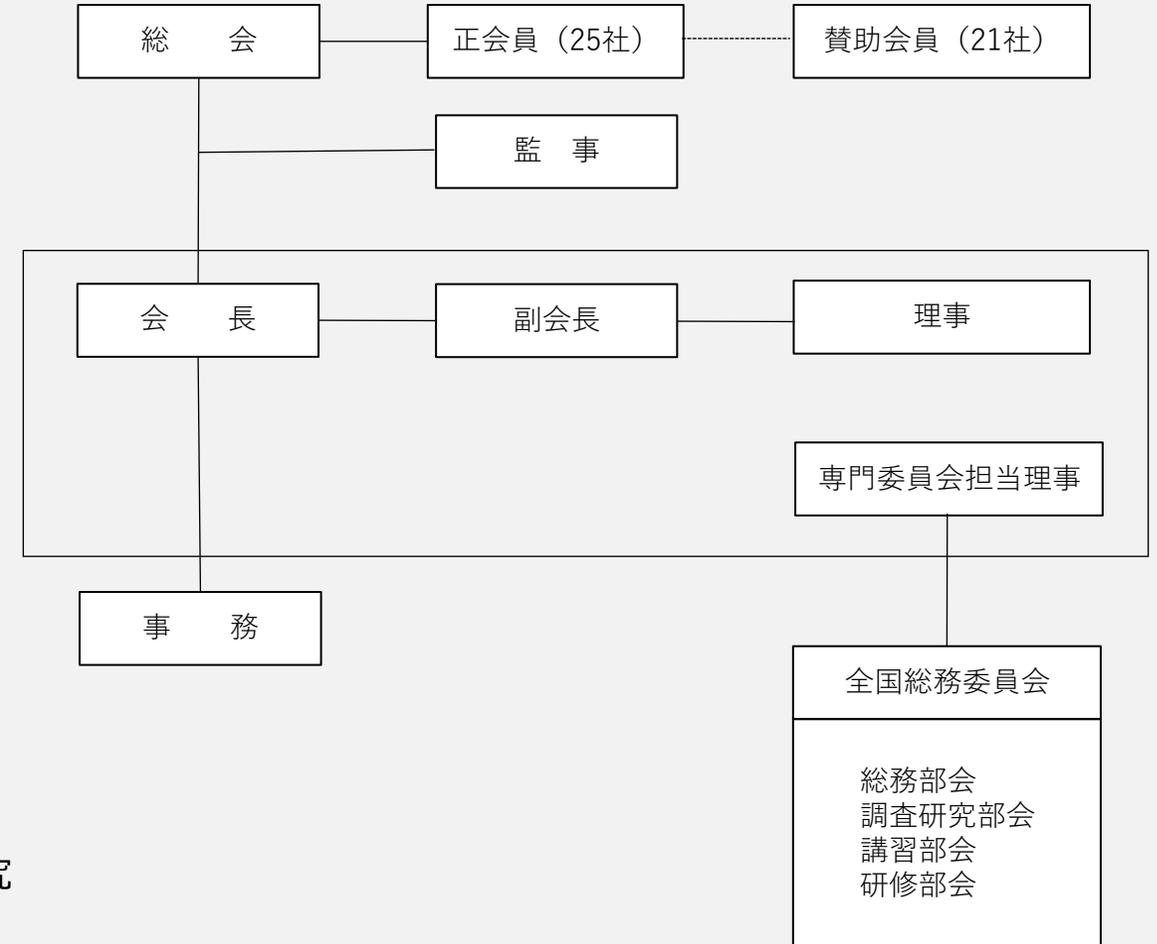
理事 12名（会長1名、副会長3名を含む）
 監事 2名

【事務体制】

事務長 1名
 事務長代行 1名
 事務員 1名

【主な事業内容】

- (1) 航空燃料供給施設及び管理の改善に関する調査・研究
- (2) 本邦の空港における燃料給油サービスの技術改善に関する調査・研究
- (3) 会員相互の連携及び内外の空港関係諸団体との交流
- (4) 空港給油事業の健全なる発展のための関係諸機関及び団体との連絡調整





航空燃料取り扱い事業について

【施設事業】

- ・航空燃料の受入れ、保管・・・専用船やタンクローリーから航空燃料を貯蔵タンクへ受け入れる。
- ・航空燃料品質管理・・・・・・石油連盟の定める規格に基づき検査を実施
- ・航空機給油施設管理・・・・・・消防法等の各種法令および石連指針に則り給油施設の点検を実施

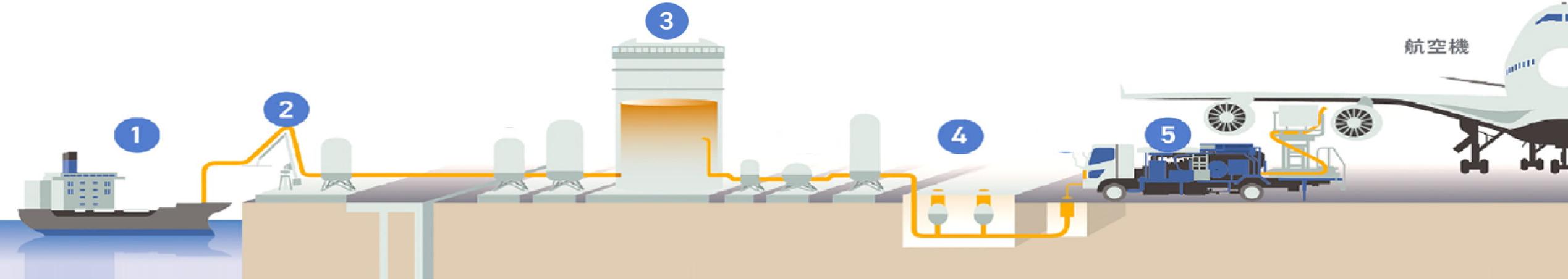
【給油事業】

- ・航空機への給油作業
- ・航空機からの燃料抜き取り作業
- ・給油車両の点検整備





【タンカーから燃料を受入れ ハイドラントを使用した場合の給油作業】



①タンカー

②ローディングアーム

③貯油タンク

④地下ピット

⑤給油車両



航空燃料を運ぶ
専用のタンカー

【作業員】 3~4名



タンカーと棧橋上配管
を接続する装置



受入れた航空燃料を
貯蔵するタンク



主配管と枝管の分岐・交
流点に設置した地下ピット



航空機とハイドラントバル
ブを中継する車両

【作業員】 1~2名



【タンクローリーから燃料を受入れ フューエラーを使用した場合の給油作業】



①タンクローリー



航空燃料を運ぶ
専用のタンクローリー

②貯油タンク



受入れた航空燃料を
貯蔵するタンク

③フューエラー



航空燃料を積み込む
車両

【作業員】 1～2名

④給油作業



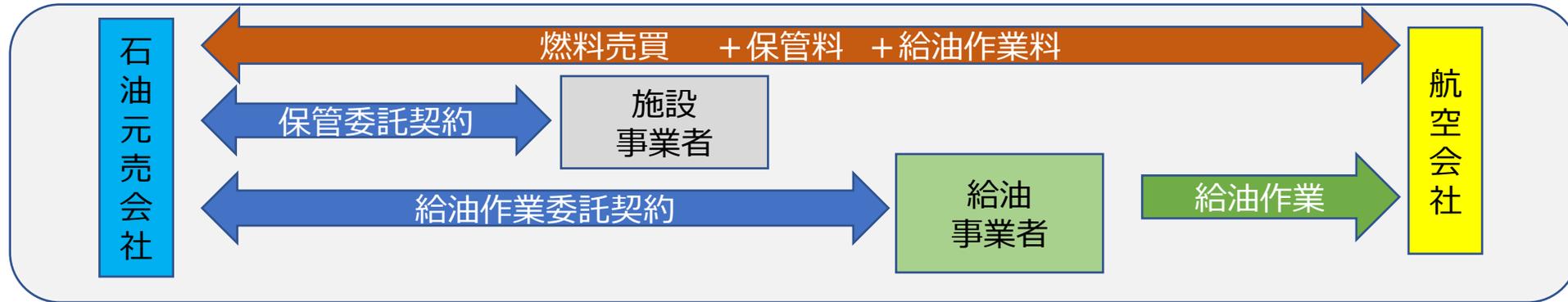
航空燃料を積み込んだ
車両で給油を実施する

【作業員】 1～2名

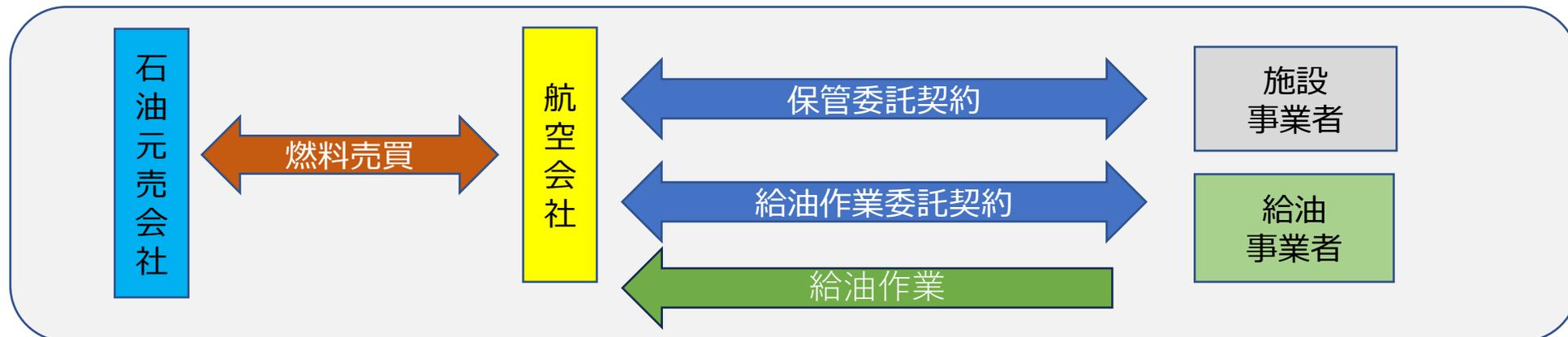


契約形態について

INTO-PLANE 契約



IN-TANK 契約





人員採用について

◆ 採用など

【新卒採用】

- ・専門学校、大学に対し、会社説明会の実施
- ・インターンシップ制度の導入
- ・航空系専門学校、大学

【キャリア採用】

- ・転職サイト、ホームページの活用
- ・退官自衛官向け説明会の実施

【リファラル採用】

- ・紹介制度の導入

【勤務形態】

- ・24時間勤務の場合 (例) 早番・中番・夜勤・夜勤明け・休み・休み
- ・日勤の場合 (例) 早番・早番・遅番・遅番・休み・休み



課題

① 人員確保

■ 採用の困難さ

- ・ALにて採用を多くしている
- ・航空を目指す学生が少なくなっている
- ・コロナ禍でついで航空業界のイメージ低下

■ 給油作業の認知度が低い

■ 作業環境（猛暑、極寒、悪天候、深夜早朝など）

■ インフラ面で女子採用に困難な空港あり



課題

② 育成期間、作業関係

- 公的資格（危険物、中型/大型免許）取得にかかるまでの期間
- 給油作業を一人で実施するための教育訓練に時間を要する（1～2年）
- 航空会社／機材毎に異なる給油資格、作業手順
- 航空会社毎の+αの作業内容（パネル操作、品質検査回数など）

※各空港、最小限の人員にて運営

新規就航ALに対してすぐの対応が出来ない場合あり

終了



一般社団法人
全国空港給油事業協会